

人むすびの場

第2回テーマ “都市と農村をつなぐ”

日時	平成20年8月28(木) 午後7時～9時
会場	スペースU
企画運営	“人むすびの場”づくり企画運営チーム

“人むすびの場”をともに創りませんか？

- 「むすひ(産霊)」とは、ものを生み出す力のことを表す古語です。場には、不思議な力が宿ります。何か生まれ行くエネルギーに満ちています。
- “人むすびの場”は、人と人の思い、能力・スキルを結び合わせ、創発のパワーを発揮して、新しい共生(ともいき)の世界を切り拓いていく、つながりづくりの場を意図しています。
- 私たちの世界は、「人と自然」「人と人」のつながりが薄くなり、様々な問題を抱えています。でも世の中には人財、知恵もそこかしこにあり、結び合うことで問題解決のパワーも生まれてくるに違いありません。
- そのため、お互いの思いと知恵を分かち合う対話と創発の場を一緒に創っていきませんか？
- 場を活かし、つながりを創り、行動していきたい！ こんな思いをつなぎ、今まで自分のやりたかったことに、さらに発展的に取り組むきっかけづくりにしていただけたらと思います。
- “人むすびの場”を、単なる勉強会や異業種交流会とは考えません。「生きがい」とか「やりがい」とは何か、ちょっとしたことから世の中がよくなったら嬉しい・・・このような思いを分かち合うことから、何かが変わることを信じている人々の集まりにしたいと思います。
- 「人むすびの場づくり企画運営チーム」へも是非ご参画ください
新しいアイデア・企画の提供などもろもろご意見をお待ちします

走りながら考えていきま～す！皆さんと創る場からネットワークやプロジェクトが大きく育ちますように・・・



プログラム

- 19:00 ◆人むすびの場とは
“人むすびの場”づくり発起人 高重 和枝
- 19:05 ◆スピーチ「**都市と農村をつなぐ**」
株式会社NOPPO 代表取締役 脇坂 真吏さん
- 19:40 ◆人むすびカフェ
ファシリテーター 角田 知行さん
- 20:55 ◆本日のまとめ
- 21:00 終了
交流会(うさぎ)

「都市と農村をつなぐ」 ゲストスピーカー 脇坂 真吏さん



日本の農業をもっと元気にしていきたい！

30年後には、小学校の職業希望ランキング1位が「農業」になることを目指しています！

- 在学中に立ち上げたアグリベンチャー企業は、“若い力で農業を盛り上げる”を モットーに、農業に興味のある学生・若者を対象に都市と農村をつなぐ人材育成事業を中心に地域活性化に取り組んでいます。
- 農業をやりたいという意欲があっても、情報がなくて、就農へのきっかけのない若者は多くいます。
- 情報を流すためにフリーペーパーSATTという情報誌を会員に発信しています。
- そこで、農業をやりたい学生の発掘と育成を目的に「大学生への農業経営学習プログラム」を展開中。参加している学生の6割は農業系の大学ではありません。
- 目指すは「きつい、汚い、稼げない」というマイナスイメージの3Kから「稼げる、感動がある、格好いい」の憧れの3Kへの農業への転換です。

【活動風景】



【略歴】株式会社NOPPO 代表取締役。
東京農業大学国際食料情報学部食料環境経済学科卒業。在学中、野菜ソムリエの店FFの立ち上げを行い、店長やネット販売担当などを経験。「日本の農業をもっと元気にしていきたい！」との想いから、卒業間近の2006年3月に会社を立ち上げ、現在に至る。“若い力で農業を盛り上げる”をモットーに、農業に興味のある学生・若者を対象に都市と農村をつなぐ人材育成事業を中心に地域活性化に取り組んでいる。

都市と農村をつなぐ



藤坂 真史

株式会社 NOFPO 代表取締役

2008/08/28

1. 株式会社NOPPO設立

若者の力で日本の農業を元気にする！！

東京農業大学時代

農村調査部／農大

- ・全国の生産者へ実習
- ・農業問題を毎年調査

- ・生産者の現状を知る
経営力、後継者不足
- ・農業界の構造を把握
JA依存体質など

- ・農業界の情租の少なさ
関心あるが行動出来ず
- ・札幌／札幌情租の少なさ
行き先を見つけれない

設立の意欲

- ・農業経営の

エフアグリシステムズ

- ・青果販売店 EF 立ち上げ
- ・店長／ネット販売／商品開発等
- ・野菜リムリ工取得

- ・農業界(生産以外)の動向把握
- ・人材要請の声多数
- ・生活者の情租量不足

若手で農業に関心のある半生の農業界投入

- ・相互情租決済システムの構築

若手農業経営者育成の場を広く人材の発掘及び育成・輩出

株式会社NOPPO設立

2 未来の農業人材を育成！！

～1st Stage : 発信・発掘～

◆ 情報発信システム

フリーページ-SATTの発行

※年4回発行 各1万部 ※全国184校+その他に配布

1. 大学生へのネットワーク
2. 農業界とのネットワーク
の2点を保有している事が最大の強み

～2nd Stage : 育成～

◆ 育成プログラム

※イベント・講演会・ワークショップなどを通じたプログラム

・SATT会員 : 大学生 約300名(2008年9月現在)

・SATT-NEXT会員: 社会人 約200名(※)

・学生スタッフ : 大学生 15名(※)

・Team L&P : 大学生 19名(2期生)

「大学生への農業経営実習プログラム」
茨城県行方市で現在学生19名が活動中。
農家研修・生産・販売・座学研修を通じて、
農業経営者を体感してもらおう。
ゆくゆくは新規就農者が出るべく膨らむ

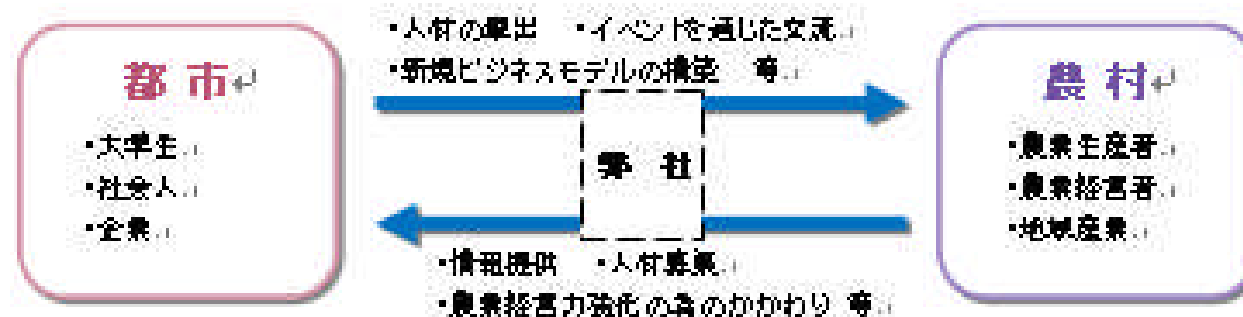
～3rd Stage : 輩出～

◆ 人材紹介

・人材紹介業 **※現在取得に向け準備中**

・転職/就農イベント等

① つながり/目標



目 標

30年後

小学生の職業希望ランキング 1位 = 農業



人むすびカフェ



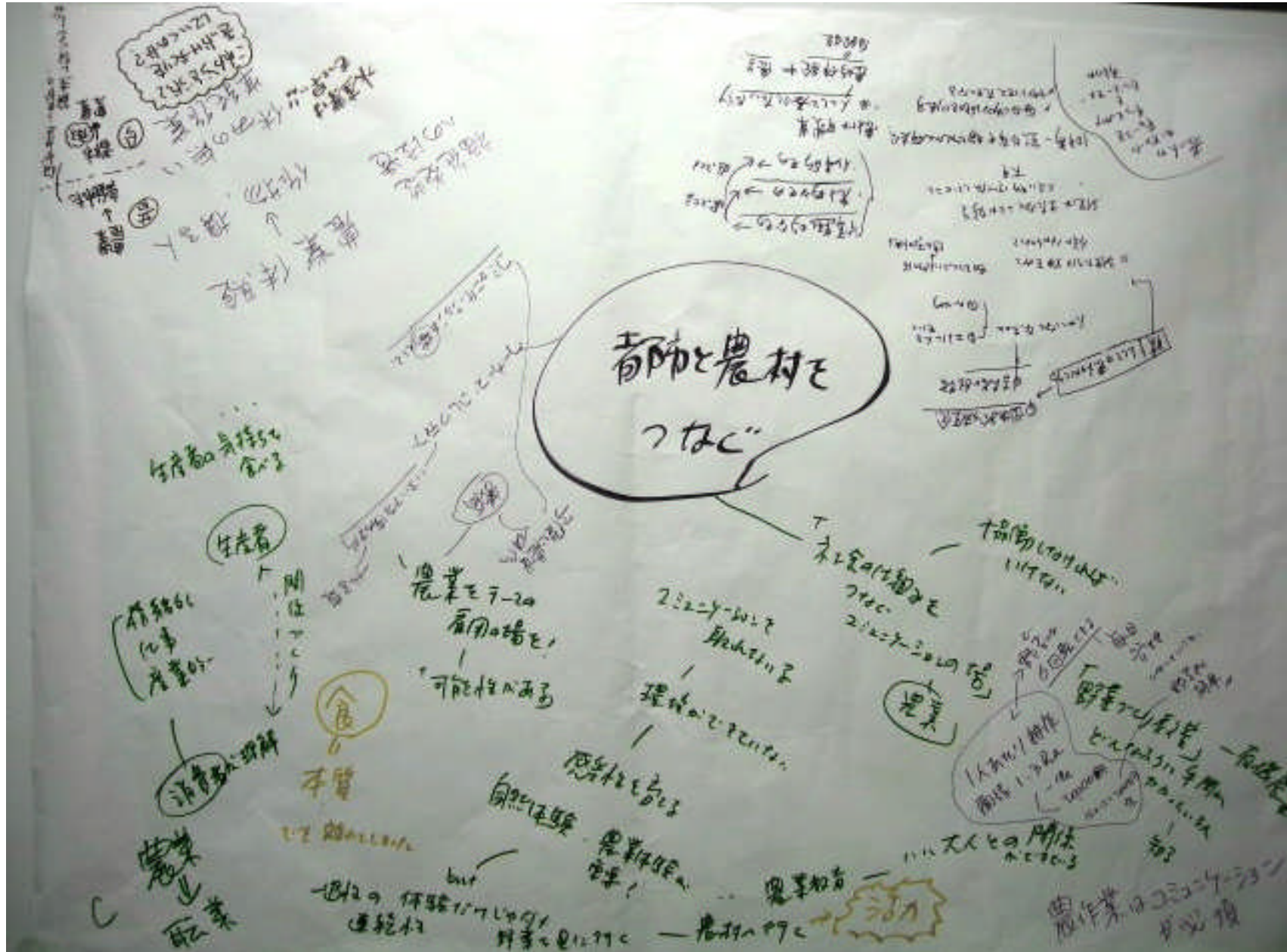
人むすびカフェ

「都市と農村をつなぐことに、どのような意味がありますか？またそのためにあなたに出来ることは何ですか？」



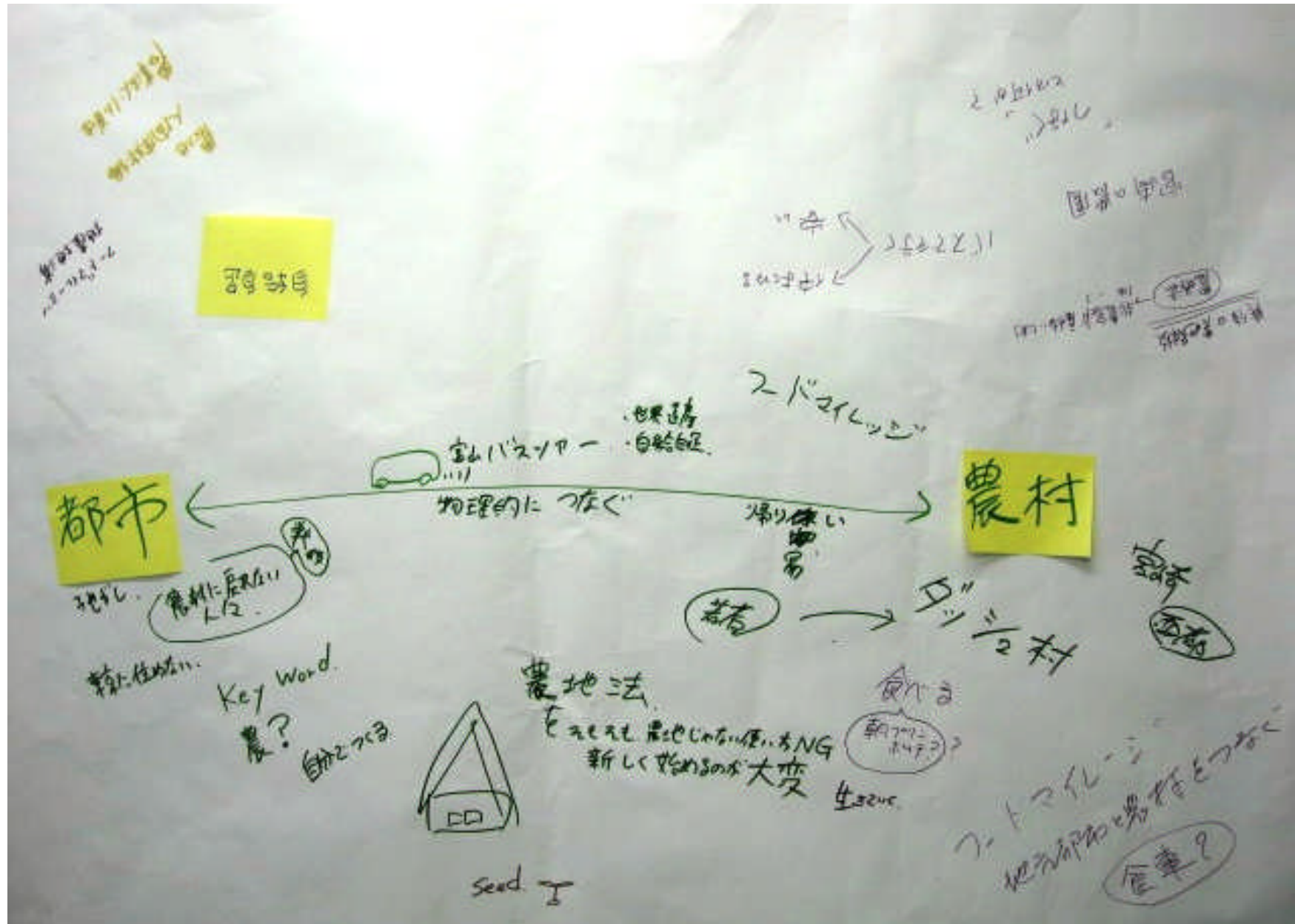
人むすびカフェ

「都市と農村をつなぐことに、どのような意味がありますか？またそのためにあなたに出来ることは何ですか？」



人むすびカフェ

「都市と農村をつなぐことに、どのような意味がありますか？またそのためにあなたに出来ることは何ですか？」



アイデア・ツリー

サステイナブル
ニュー資本主義

食

フードマイレージ

地産地消

消費者と生産者の関係づくり

移動交通費を
タダに

情報を求めている

都市

農村

農業

産業としての農業

仕事としての農業

情緒的農業

都市の人は知りたがり

人をつなぐ／豊かにつながる

社会の仕組みを
つなぐ
コミュニケーションの場

農村の人は教えたがり

農地法

第一次産業～
第三次産業の連結

体験
学び

田舎に泊まろう

ファーム

都市

レストラン

若者が農業に関心をもつきっかけづくり

農業体験を伝えたい

連続的に

情報をつなぐ

地方に光ファイバー



本日の感想①

* 今日、どんな気づきがありましたか？

- ・様々な方が農業に興味をもって下さって嬉しいです。様々な業界の力を出せば農業は変わります！！
- ・想像以上に「農」分野には期待がかかっている。
- ・しかし、業としての”農業”と“農”を切り分けて考える必要があるということを再確認しました。
- ・グループワークでのあたらしい(?)コミュニケーション手法
- ・日本は本格的に農業に取り組むべきでしょう。
- ・食の安全を重視する人が多い。
- ・つなぐには、物理的なつながりをフリー(無料)にしてはどうか？
- ・農業に熱い人が沢山いる！
- ・やさいづくりは誰にでもできるが、農家には誰でもなれない。今、伝え残す努力が必要！！
- ・このコミュニケーション・ルールはまさに現代の人間関係の稀薄化した状況を改善していくための方法の一つという感じを持っています。

本日の感想一②

* 一番、印象に残ったこと(キーワード)はどんなことでしたか？

- ・自分が話すすぎたせいか・・・あまり無いです。..すいません。でも会話(ワールドカフェ)最高♪～
- ・農業は職業である。
- ・「社会の仕組み」
- ・農的暮らしの中で“農に憧れる人”と職業としての農の違いを改めて認識しました。
- ・農作業はコミュニケーションが必須。産業としての農業と「農的経験」はちがう.....
- ・移動タダ
- ・都市と農村を考えることを今まであまりしてこなかった、ということがわかりました。
- ・役人に任せては駄目、(農業も規制緩和)
- ・米づくりは簡単(本当?)
- ・身近な農業を考える機会であった。
- ・つなぐ
- ・一人あたりの耕作面積 米1回のところ、野菜は6回できる

本日の感想ー③

*** その他、よかったこと、残念だったこと、質問など、ご自由に。**

- ・リラックスして取り組めるファシリテーションで良かったです。
- ・一つチーム当たりの時間が短く、皆様の質問に答えられなかった事が申し訳ないです。イベントの行い方、ワールドカフェ参加にさせていただきます。本当にありがとうございます。
- ・若いひとが農業に興味を持つきっかけは果たして何なのか。
- ・前向きな気持ちで農業に興味を持つ人がどの位いるのか知りたい。
- ・農業というテーマが意外と盛り上がったこと
- ・あとのまとめがどのようになるのか興味津々です。
- ・身近な農業を考える機会であった。
- ・それぞれの方がそれぞれの言葉で表現するのは楽しいが語り合った事を伝えるのはむずかしい。
- ・もうちょっと人が集まると面白かったでしょうか。でも、この位の人数でもこじんまりして良いかもしれませんね。

皆さん、一緒に場をつくってくださってありがとうございました。